非にほとんどの地域で

水道が整備されておら

を抱えている。

が進み、さまざまな問題

同社の腕の見せ町でもあ

当時(8年代半ば)の



聞いた。

締役社長に、

事業の現状と将来の見通し、

成長戦略などについて

性を踏まえた「地域密着」

周年を迎えた中央設計技術研究所。歴史の中で培ったノウハウを

王かし成長を遂げ、今や活動のフィールドは全国区に及ぶが、モッ

ーとしてきた地域貢献の精神を受け継ぎ、それぞれの地域の特

の提案を行っている。笠松英昭代表取

情報処理など幅広い分野にわたる環境コンサルタント業としてお

金沢市に本社を置き、上下水道を中心に廃棄物、

エネルギ

設計技術研究所に改称。 社は、67年に現在の中央 道のエリアマップを策定 全国の先駆けどなる下水 たを進し、 石川県が 啓され、 未導調整・ 調査設計事務所」として した際には、 提案事業を行ってきた同 1947年「高柳水道 他社とども

2代目によって下水道分 と主体的に携わった と

それも一段落。管渠の設 の事業も上水と下水の売 程とったことから、同社 なった。だが、現在では 上高が逆転するまでに 処理場の新規建設な 以後建設ラッシュが どほめっきり減り、 などのストックマネジメ 電気機械設備の更新事業 は耐震化の診断や設計、 反対に、普及が早かっ

> 注言れるが「塩化」。 用された水だが、現在は 用も工場用水も豊富に使 量も減っている。そこで 会へ移行し水需要も排水 台減少 に加え 節水型 社 高度成長期には、 てきている。

け負う事例も出てきてい から一部の工事業まで請 連携で請け負う形が増え 設計のみならず資材調理 同社でも

> が、課題を が大きく

探り、運営 利益度外視だ 献の意味合い

る。地域貢

業のパイが増え ない中、主流に 民連携事業(P なりつつある官 「上下水道事

コンサルティングが組み、

設を計画し設計した。 終過程で発生する消化汚

ている。

この成功事例を生かし、

社員満足の両立でさらなる成長へ

や肥料の乾燥等に利用し 種類のバイオマスを一括 地に還元されている。5 泥は肥料化し地域の緑農 縮減と環境配慮を両立。 処理することで、コスト できたメタンガスを運転

社長語る。

いう思いもある」と笠松 ウハウを身に付けたいと

PP)では、事業規模が に際しては「実績」が重 分の予算を一括受注でき ち早く着手し、実績を積 視される分野なので、い んでいる。建設事業5年 00億~200億円に 発 も設計・監理を担当。 しかわモデル」において 17年に中態量で始まっ 会形成の推進に貢献して た小規模下水処理場向け 暖化防止や地域循環型社 のメタン発酵システムい 温

> 期計画を策定し、5%成 8~10年先を見据えた中

成長戦略については、

長月野。

も及ぶものもあり、

る。高濃度混合バイオマ スでガス発生量の増大を 方では集約化が課題とな の汚泥発電は利益が出る 事業になるだろうが、 一大都中では下水処理場 一と社員

笠松社長

する珠洲市では、200 能登半島の先端部に位置 ら行なっている。例えば、 に根差した提案を早期か 脱炭素化に向けた下水

槽污泥、農業集落排水污 3年から下水汚泥、浄化 処理によるバイオマス胞 泥、し尿、生ごみの混合 落の活性化 で、財政に 型化を組み やキャンプ場などを運営 水道事業だけではない。 さくなる 石川県自出 レンジして し、地元雇用や過疎化集 新たな取 につなげてい 市の温泉施設 いるのは上下 り観いにチャ

を行う『拡 観ない を身に付け ろう。あらゆるノウハウ 問委託』も増えてくるだ 用水を一体 向けて、上・下水と工業 ノセッショ 「持続可能な水道経営に ン事業に取り 1 大型包括的民 化し官民連携 積極的にコ

まってきて欲しい。顧客 にも力を注ぎたい。人材 しい。掲げた目標を達成 活躍を望む人は是非集 育成の土壌があるので、 するために、 一現状維持では登録に等 満足を両立さ 人材の確保

会社の業績は安定

ントがメイン」となった。 た水道施設の方は老朽化

(新潟県見附市) ず、老朽化した施設が放 常に長い。独立採算制の きるよう支援している。 ため更新予算が確保でき 理ともに利用水量が減少 置されるケースも多いが、 しており、将来を見据え 上夫して予算内で更新で 台域少によって上下水 「水道は配管の距離が非 安全性など多方面から評 のほか、施工性や施設の ルコストなどの経済比較 「建設コストやイニシャ

3~5ケース提案する。 発注者と協議を重ね、 適差に絞り込んでいく」 考えられる事例を

DBO方式で更新を行

管理まで一括で行うDB いる。設計施工から運営 の方式も採用され、 発注の方式も変化して 全体も抑えることができ できる。工事が分割され し、アイデア提案に集中

事業費

図る効率化

も環境にもや 合わせること や発酵槽の小